

論文番号 219

担当

滋賀医科大学 福祉保健医学講座

題名 (原題/訳)

Effects of Alcohol Reduction on Blood Pressure: A Meta-Analysis of Randomized Controlled Trials

血圧に対する節酒の影響：無作為化比較試験のメタ分析

執筆者

Xue Xim, Jiang He, Maria G. Frontini, et al.

掲載誌 (番号又は発行年月日)

Hypertension. 2001; 38: 1112-1117

キーワード

アルコール、 血圧、 メタ分析

要旨

今までの疫学研究において、アルコール摂取が血圧上昇と関係があることが知られている。今回の研究では血圧に対するアルコール摂取量減少の影響をみるために無作為化比較試験のメタ分析を行った。今回分析したのは1999年6月以前に公表された、アルコール摂取減少だけが唯一の介入項目の無作為化比較試験15研究(対象者合計2,234名)である。標準化プロトコール、サンプルサイズ、対象者の特性、研究方法、介入方法、期間、治療結果を用いて、3人の研究者によって抽出された。全体として、アルコール摂取の減少は収縮期血圧を平均として3.31mmHg(95%信頼区間:2.52~4.10mmHg)、拡張期血圧を平均2.04mmHg(95%信頼区間:1.49~2.58mmHg)、有意に減少させた。量-反応関係はアルコール摂取量現象割合の平均値と血圧低下の平均値の間で認められた。介入の効果はベースライン時の血圧が高いほど大きかった。今回の研究は、多量飲酒者に対してアルコール摂取量の減少(節酒)が高血圧治療や予防の上で、生活習慣改善の重要な要素として勧められるべきであることを示している。